

令和6年度 上半期分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年度上半期について、輸出額は「自動車」、「半導体等製造装置」、「電池」などが増加したことから、対前年同期比5.8%の増加となった。また、輸入額は「液化天然ガス」、「原粗油」、「自動車」などが増加したことから、同8.6%の増加となった。

その結果、差引額は4兆1,962億円（同3.4%の増加）となった。

名古屋港における輸出額及び輸入額が、過去最高を記録。
名古屋港における差引額は、1998年度上半期以降 53期連続 全国港別（空港を含む）第1位。

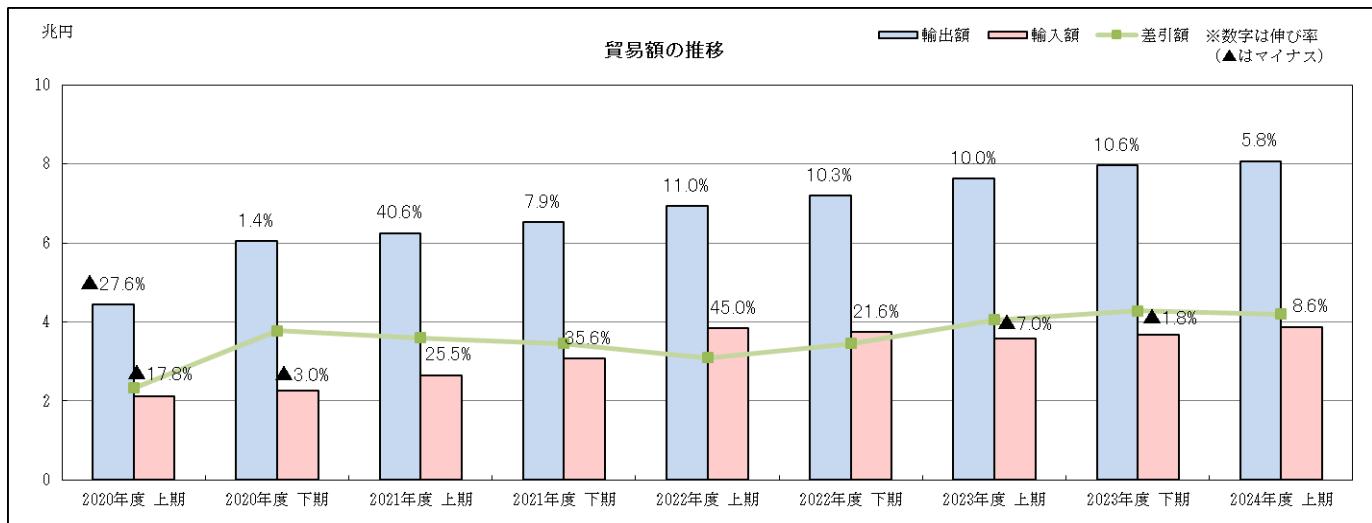
注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同期比による
また、★印は名古屋港において全ての期を通じて過去最高を示す（1979年度上半期以降のデータを基礎として比較）

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	★ 8兆0,760億円	+5.8%	★ 3兆8,798億円	+8.6%	4兆1,962億円	+3.4%
	8期連続の増加			3期ぶりの増加		
	順位 過去1位 上半期として1位	順位 過去1位 上半期として1位	順位 過去2位 上半期として1位			
管内（名港シェア）	12兆5,169億円 (64.5%)		7兆1,424億円 (54.3%)		5兆3,746億円 (—)	
全国（名港シェア）	53兆5,504億円 (15.1%)		56兆6,571億円 (6.8%)		▲3兆1,067億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出増加	(1) 自動車	★ 2兆4,063億円	+5.1%	+1.5	5期連続の増加
	(2) 半導体等製造装置	★ 1,998億円	+83.9%	+1.2	2期ぶりの増加
	(3) 電池	★ 1,519億円	+44.1%	+0.6	3期連続の増加
輸入増加	(1) 液化天然ガス	2,794億円	+34.9%	+2.0	3期ぶりの増加
	(2) 原粗油	3,674億円	+18.7%	+1.6	3期ぶりの増加
	(3) 自動車	542億円	+588.4%	+1.3	3期連続の増加



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諫訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。